

情報化施工研修会のご案内 ～ICT建設機械の現地研修～

ICTを活用した新しい施工技術である情報化施工は、施工品質の向上や熟練度に左右されない高い精度の施工などを実現する方法として、更なる普及が期待されています。2008年7月、国土交通省が設置した『情報化施工推進会議』は、「情報化施工推進戦略」を提言しましたが、その中でも「人材育成」が非常に重要であることを指摘しています。

(社)日本建設機械化協会は、3次元データを利用した建設機械制御に関する実践的な教育により、情報化施工に対応できる技術者を育成することを目的として、「情報化施工研修会」を開催しております。次回の研修会は下記日程で実施することとしておりますので、研修生の募集についてご案内申し上げます。

記

1. 開催日程： **平成22年1月28日(木)～29日(金)**
 平成22年2月25日(木)～26日(金)
2. 主 催：社団法人 日本建設機械化協会
3. 場 所：(社)日本建設機械化協会施工技術総合研究所（静岡県富士市大淵3154）
 『情報化施工・安全教育研修センター』
4. 対 象：建設現場管理者、建設機械オペレーター、その他マシンコントロール（MC）、マシンガイダンス（MG）の体験あるいは習得を希望する方。
5. 研修会のコース

コース名	研 修 目 標	受 講 費 用	備 考
体験コース (1日間) 定員:20名	○MC、MGを用いた施工の概要(システム構成、運用)を把握する ○MC、MG用データを使用した 実機施工を試乗体験 する	<u>20,000円/人</u>	○OCPDS認定研修(6unit) ○開催期間の初日の1日
実務コース (2日間) 定員:20名	○設計図面を読みMC、MG用 データ作成をマスター する ○測量データを利用して データ作成、出来形管理の基本 を習得する ○ 実機を用いた実習 によりMC、MG施工の基本を習得する	<u>88,000円/人</u>	○OCPDS認定研修(14unit) ○研修用 パソコン の利用(一人1台) ○「 研修修了証 」を発行 ○ (独)雇用・能力開発機構のキャリア形成促進助成金制度に基づき、受講料及び賞金の1/2の助成 を受けられる場合がありますので、 雇用・能力開発機構都道府県センター 等でご確認いただくことをお勧め致します。

- ・受講資格は特にありませんが、「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習」修了者であれば、施工機械の運転体験が可能です。
- ・体験コースを既に受講した方が**実務コースを再受講する場合、68,000円/人**で受講できます。
- ・主に、**1月の研修会では、ニコン・トリンブル社製のシステム、2月の研修会では、トプコン社製のシステム**を使用して実施します。
- ・受講費用には、建機・機材のレンタル費、パソコンの利用、傷害保険、テキストなどの費用が含まれています。宿泊費、食事代は含みません。
- ・ヘルメット、安全チョッキは当方で準備します。なお、実習の際は安全靴の着用をお願いします。
- ・諸般の事情により内容を変更する場合があります。

6. 研修カリキュラム

第1日目 (午前) (9:30～ 受付)		第1日目 (午前) (9:30～ 受付)		第2日目 (午前)	
体験 コース	9:45～ 9:55	主催者挨拶、ガイ ダンス	「体験コース」と 同内容で実施	8:30～ 9:40	法面設計データの作 成 (T I Nデータ)
	9:55～ 10:25	情報化施工の動向		9:40～ 12:00	MC, MGのハード 設定 (現場実習)
	10:25～ 11:25	情報化施工 システムの概要		第2日目 (午後)	
	11:35～ 12:15	締固め情報化施工と TS出来形管理の概要		MC, MG, TS出 来形管理の現場実習 ①モータグレーダ ②ブルドーザ ③振動ローラ ④TS出来形管理	
	第1日目 (午後)		13:00～ 16:00		
	13:15～ 13:45	MC, MGの体験 説明 (現場実習)			
	13:45～ 15:45	MC, MG, TS 出来形管理の現場 体験 ①モータグレーダ ②ブルドーザ ③振動ローラ ④TS出来形管理			
	15:45～ 16:15	質疑、終了			
	第1日目 (午後)				16:00～ 16:30
	第1日目 (午前)		13:15～ 14:15	情報化施工に関する 管理要領 等	
実務 コース		14:15～ 15:00	設計データの概要		
		15:10～ 16:10	設計データの作成(1) (路線データ)		
		16:20～ 17:00	設計データの作成(2) (T I Nデータ)		
		17:00～ 17:30	設計データの作成(3) (T I Nデータ)		

6. 講 師：(社)日本建設機械化協会、施工会社、建設機械、測量器械メーカーなどの専門家



受 講 風 景



実地研修場所全景

7. お申込み方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送、Faxまたはメールにてお申込み下さい。
 (社)日本建設機械化協会 施工技術総合研究所(<http://www.cmi.or.jp/>)
 〒417-0801 静岡県富士市大淵3154 電 話：0545-35-0212
 Fax：0545-35-3719 E-mail：joho-kenshu@cmi.or.jp

8. お問い合わせ先：(社)日本建設機械化協会 (担当：白鳥)
 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8 (機械振興会館)
 TEL：03-3433-1501 Fax：03-3432-0289